

様式4について、  
フェーズ2の場合：1～3を記載し提出  
フェーズ3の場合：1～4を記載し提出

研究開発及び事業化に関する計画書

青字を参考に記載してください。

所属機関

所在地 ○○○  
名称 消太大学  
機関長・氏名 学長 ○○○○

「AI や ICT を活用した予防業務管理システムの研究開発」

1 本研究終了後に想定される事業の概要

- ・どのような事業が想定されるか。

2 本研究を始めるきっかけ、動機

- ・研究開発の背景について記載してください。
- ・なぜ、自分たちが研究開発を進めるのか。なぜ、今のタイミングかなどを含めて記載してください。

3 本研究終了後に想定される事業が参入する市場

(1) 具体的なニーズと参入先として想定される消防機関

- ・参入先として想定される消防機関はどこか。また、漠然としたニーズ(あったらいいなど言う程度)ではなく、具体的な強いニーズ及び本研究開発によって何を解決しようとしているのかを記入してください。

(2) ターゲット市場規模と想定シェア

- ・その市場はどれくらいあるのか。技術による解決を必要としている消防機関は、他にどれくらい存在するのか、定性的な記載ではなく、ターゲットとなる市場規模について可能な限り定量的に記載してください。
- ・これからそのニーズは今後増える見込みか、減る見込みか。
- ・上記についてわかる根拠(出典)があれば示してください。
- ・研究開発の結果、実用化の段階に達した場合、ターゲットとする市場においてどれくらいのシェアをとっていく予定か。その理由は。

4 ビジネスの強み(想定される事業計画の構築)

(1) コアとなる技術シーズ

- ・消防機関の強いニーズに対して、他の研究機関や企業等にはない、どのような技術で解決しようとしているのかを記入してください。
- ・上記技術がどのような製品に組み込まれて新たな価値を生むのかをわかりやすく説明してください。
- ・具体的な特許及び、他社特許に対する優位性等を記入してください。

記載例

(2) 現状との比較

- ・現状の解決法と欠点、課題は何か。
- ・競合が想定される他の機関の研究開発内容・製品・サービスがある場合、本制度によって開発する製品との性能及び価格等に関する比較表を作成し、本開発製品の競争力の根拠を記入してください。

(3) 市場参入時期とそれまでの開発課題及びリスク

- ・市場参入時期（想定）を明記してください。
- ・本研究開発終了後、事業化が可能になるまでの具体的計画を記入してください。
- ・事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記入してください。

5 研究開発の独創性・新規性の根拠

※ 実用化の基盤となる技術、取得特許、ノウハウ等の内容

実用化の基盤となる技術、これまで開発したコア技術を説明してください。（技術内容の説明に必要な代表的特許等の明細書（要約でも可）のコピーを添付すること。）

特許の名称 (最新状況)	出願番号（出願日） (公開、公告、登録のうち 最新のもの)	出願人	発明者	係争の 有無	明細書 等の写し
○の装置 (特許取得済)	特許第▲▲号 (登録日H▲. ▲. ▲)	◇◇株式会社	消防太郎 消防次郎	無し	特許1
△の方法 (審査請求中)	特願××××-××××× (R▲. ▲. ▲)	◇◇株式会社	消防太郎	無し	特許2

- ・特許の最新状況については、「審査請求中」、「特許取得済み」等を記入してください。また、特許の出願人及び発明者（申請書に記入されている全員）を記入してください。
- ・自社特許でない場合、基となる特許の使用許諾を受けているか、あるいは専有実施権の有無を記入してください。
- ・明細書等の写しを添付しない場合は上記表の「明細書等の写し」の欄に「無し」と記入してください。

6 出口戦略

- ・本研究成果の社会実装に関して、出口戦略として想定される内容を具体的に記載してください。  
(法令改正、ガイドライン制定、緊急消防援助隊への配備等)
- ・製品を生産する場合にあっては、生産ラインを構築する企業や提携する可能性のある企業について記載する。

※ 事業内容について、本研究開発の前後で何ができるようになるのか具体的な数値を用い、内容がわかりやすい図を作成し、添付してください。

※ その他、年度ごとの事業計画が記載された研究開発、事業に関する日程やロードマップ等の資料があれば添付してください。